武蔵村山市立小中一貫校　村山学園

# 学園だより

令和７年度７月号
統括校長　井内　潔
令和７年７月１日

【教育目標】　人にやさしく　自分に強く　英知を磨く村山の子

## 「自ら学ぶ意欲」を育む夏に

小学部生活指導主任　主幹教諭

蒸し暑い日が続く中にも、時折差し込む夏の日差しに本格的な夏の訪れを感じるこの頃です。 子供たちは、じめじめとした気候にも負けず、毎日元気いっぱいに学校生活を送っています。

さて、７月１９日（土）より夏休みに入ります。夏休みは、８月３１日（日）までの４４日間です。この期間は、苦手な教科の復習や、基礎学力の定着を図る絶好の機会です。特に中学部にとっては、今後の進路選択にも関わる大切な時期です。この期間を有意義なものにするために、自分で課題を見付け、目標を立て、主体的に学習に取り組む「自ら学ぶ意欲」を育むことが重要です。この意欲が身につくことで、子供たちは将来、変化の激しい社会の中でも自ら考え、学び、行動できる力を発揮することができます。つまり、人生を切り拓く力の源となります。

その「自ら学ぶ意欲」を支える一つの要素として、学習時の体の正しい姿勢があります。頭の重さは、体重の約１０％と言われています。正しい姿勢でないと、筋肉に負担がかかり、血流が悪くなり、疲れやすくなったり、集中力が低下したりすると言われています。

東京都教育委員会の「子供の体幹を鍛える研究～正しい姿勢のもたらす教育的効果の検証～」の研究でも、「姿勢の良い児童・生徒は、自己抑制が高い傾向く、学校生活に満足しており、学習に積極的である傾向がある。」との報告がありました。

１年生では、「あしは　ぺったん　せなかは　ぴん　おなかと　せなかに　ぐうひとつ」といった分かりやすい言葉で、学習時の体の正しい姿勢について指導しています。これは、子供たちが自分の姿勢を意識しやすくするための工夫です。御家庭でも学習時間の目安（小学部は学年×１０分、中学部は学年＋１時間）を参考にしながら、集中力が続かないと感じたときは、お子様の学習時の体の正しい姿勢を確認してみてください。

このように、学習時の正しい姿勢は学習への集中力を高め、「自ら学ぶ意欲」を支える大切な土台となります。村山学園では、日々の声掛けを通じて、子供たちが自分から学習に取り組む力を育てています。

今後とも、子供たちが健やかに成長し、自ら学びに向かう力を育んでいけるよう、学校と御家庭がさらに連携して支えていきたいと考えています。夏休み期間中も、子供たちが安全で充実した日々を過ごせるよう、御家庭での見守りをお願いします。

※夏休みの生活や学習等については、夏休み前に配布する小学部「夏休みの生活について」、中学部「夏休みを楽しく有意義に過ごすために」をお子さまと一緒に御確認ください。